

サブゼミ 表面—表面構造の新しい観測法—

表面サブゼミは7月20, 21日の2日間、木島平にて行われた。

参加者は30名程で、手ごろな人数であった。

しかし、表面を専門とする研究室からの参加が少なく、来年は各研究室が多数参加願いたい。

内容は「新しい表面構造解析法」をテーマとして、以下の通り。

講師 酒井 明 (東大・物性研)

「新しい表面構造解析法：表面を撫でる実験法」

— STM とヘリウム原子線回折法 —

発表者 米田 忠弘 (京大・理)

「電子エネルギー損失・分光による $N_2/Ni(110)$ の研究」

宮本 良之 (阪大・基礎工)

「GaAs(110) 表面の内殻励起子による共鳴光電子放出」

酒井氏の講演はとてもわかりやすく、興味深いものであり、とくに STM については表面以外の方も興味を持っておられる方が多いのには驚かされた。

今回、「実空間を見る」観測手段に重点を置き、STM, He 原子線回折, ELS 等, 取り上げ、従来の観測手段(LEED 等)との比較検討も行われた。全体的に見て、充実した内容ではなかったかと思う。

また、来年の世話人も吉森研が行うことになってしまった。ジャンケンの弱さが、悔まれる。次々回はぜひ他校に世話人を引受けて頂きたい。

最後に、御協力頂いた方々に深く感謝したい。

(世話人 阪大・基礎工 渡辺佳英)

サブゼミ 物性基礎論 II — Beyond Simple Chaos

発表者及び発表題目

23日 佐野 雅己 (東北大・通研)